

## 2023年度 JCII 標準化調査事業研究発表会開催要旨

### 開催要旨

弊機構では国・公共団体、業界団体等の専門家による「標準化調査研究企画委員会」を設置し、産業界から標準化が求められているテーマを設定して、新たな標準となるプラスチックの評価方法の開発を目指してこれまで長きにわたり調査研究に取り組み、その成果を発表しております。今年度は、標準化調査研究の2つのテーマによる報告、及び、2022年12月に制定された「機能性フィルムの引っかかり硬度試験」に関するJIS開発について発表いたします。

申込方法の詳細につきましては、弊機構 HP (<https://www.jcii.or.jp/>) を参照下さい。

### 開催プログラム

開催日時：2024年3月22日（金） 14:00～16:00

開催方式：Web セミナー方式（Zoom Webinar）

### 発表内容

#### 発表 1 「高分子材料の耐久性評価技術に関する調査研究のこれまでとフェーズⅢの取組み」

**概要：**プラスチック製品の品質管理への活用を目標に、これまで実施してきた再生ポリプロピレン材料の耐候性評価（フェーズⅠ）、および、光安定剤を配合したポリプロピレン材料の耐候性評価（フェーズⅡ）について紹介するとともに、フェーズⅢでは、ポリプロピレン材料の紫外線暴露による劣化の開始に焦点をあて、短時間で効果的な評価技術の確立を目指した取組みについて報告する。

#### 発表 2 「食品用器具・容器包装の添加剤分析法とシミュレーションソフトの実例について」

**概要：**これまでに食品中の器具・容器包装由来成分の分析に関する調査研究で行ってきた添加剤含有量試験や溶出試験の紹介に加えて、添加剤の存在を熱脱着-GC-FID を用いてスクリーニングする方法を確立したので報告する。また、包装材からの添加剤の溶出量をシミュレーションするソフトである「SML6」を用いた実例を紹介する。

#### 発表 3 「機能性フィルムの引っかかり硬度に関する J I S 開発」

**概要：**機能性フィルムは、電子・電気、自動車、ディスプレイ、包装分野など広範な産業で不可欠の材料であり、今後も様々な分野への用途拡大が見込まれる分野であるが、フィルムの基本物性項目である引っかかりによる表面硬さを適切に評価する試験方法が確立されていなかったことから、定量的、かつ、精度及び再現性の高い、引っかかりによる表面硬さ試験方法を開発、2022年12月にJIS K 7317（プラスチック―機能性フィルムの引っかかり硬さの求め方）が制定された。ここでは、本 JIS の特徴、測定実施例、今後の課題について報告する。